

K P L e v e l l e r X L

『用途特徴』 ポリエステル繊維の濃染剤

- ・ 分散染料によるポリエステルの低温染色（１００～１２０℃）が可能です。ポリエステルとの複合素材で染色温度が上げられない場合に有効です。
但し、ジアセテート、スパンデックス等、脆化の傾向があるので注意が必要です。
- ・ カバリング性が向上します。
- ・ Kayacryl ED染料によるCDP繊維の染色が１００℃でも可能になります。ポリエステルとの複合素材の場合、ポリエステル側の白残しが容易になります。
- ・ Kayacryl ED染料によるCDP繊維の染色が１００℃でも可能になります。ポリエステルとの複合素材の場合、ポリエステル側の白残しが容易になります。
- ・ ポリエステル、CDP繊維等の斑直し、一部脱色にも効果を発揮します。
- ・ 一般的なキャリアー剤と異なり、ほとんど無臭です。

『品質規格』

１． 外 観	黄色液状品
２． 組 成	特殊界面活性剤
３． イオン性	アニオン・ノニオン性
４． p H	約 6（2g/L 水溶液）
５． COD,BOD 値	COD;270ppm BOD;90ppm (測定濃度 2g/L 溶液)
６． 使用方法	120℃ 染色の場合； 0.5～2.0 g/L 100℃ 染色の場合； 2.0～6.0 g/L 斑直し、一部脱色の場合； 2.0～6.0 g/L
７． 荷 姿	18kg 入り缶
８． 取り扱い注意	目、皮膚および、衣類に触れない様に、適切な保護具を着用し、作業する。

製品使用上の注意

弊社より販売しております製品は、工業用の用途に使用されることを前提に製造され、製品化されております。すなわち繊維素材の前処理、染色及び仕上加工の用途に限って使用頂いております。

製品用途：繊維用染料または染色加工用薬剤

なお、ここに記載された技術情報や推奨処方は弊社の最新知識にもとづくものですが、限られた小試験のデータであり、あらゆる規模、用途、範囲での再現を保証するものではありません。従って、すべてのケースについて予備テストをお奨め致します。記載された内容には弊社の自由にコントロールできない関連特許も含有している場合がありますのでご注意ください。

各々の製品の安全性については、弊社の製品安全データシート（MSDS）を良くお読み下さい。